

## 「デジカメでの長時間露光 (2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

レリーズ穴のない、デジタル一眼レフカメラに、どうやってレリーズを取り付けるか?これは、特に天体写真家の間で、「今困っていること」として共有されているほどの大問題であった。私は、長らくデジカメのシャッターボタンに、「無理矢理」レリーズを取り付けて使っていた。



「田中式レリーズ固定法」 カメラはニコンD40

固定といっても、布ガムテープで、シャッターボタン上部に、レリーズを固定しただけの簡単なもの。確かにこれで、レリーズシャッターは可能になる。しかし、一旦取りはずすと、容易には装着できず、完全に「天体写真専用」になっていた。しかも、露出補正ボタンや、SDカードカバーを犠牲にしたので、非常に使いにくかった。・・・私のような素人でも困っているのだから、きっとこういうデジカメに対応した商品があるにちがいない。ネット探そうと思ったが、名称すらわからない。いろいろ調べるうちに「レリーズ・ステイ」という名称で、商品化されていると知った。



「ビクセン製レリーズ・ステイを取り付けたところ」  
角度や位置は自由に調整できる。三脚穴のあるカメラなら、コンパクトデジカメでも装着できる。この状態のまま持ち運べ、三脚に装着可能。



「レリーズがシャッターボタンを押したところ」  
シャッターボタンを傷つけず、また滑らないように、アタッチゴムが付属して、大変親切。これで、確実に長時間露光が可能になった。

カメラアクセサリメーカーではなく、天体望遠鏡メーカーの「ビクセン」の商品である。やはり需要があるわけだ。さっそく注文した。簡単な構造だが、思った以上に優れた製品である。 (つづく)